

会 議 録		令和 4 年11月 7 日作成	令和 8 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府亀岡警察署協議会（令和 4 年度第 2 回）		
開催日	令和 4 年10月18日（火曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 5 時までの間（ 120分）		
場 所	京都府亀岡警察署 道場		
出席者	岸会長、湯浅副会長、芦田委員、大橋委員、木曾委員、國府委員、サミュエル委員、高澤委員、森川委員、矢田委員 （欠席 前田委員） 計10人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	1 適切な留置管理業務に向けて 2 新任警察官の育成方策について		
会 議 内 容	1 新任委員委嘱状の交付 司会 広聴係長 2 新任委員挨拶 3 会長挨拶 4 署長挨拶 挨拶と本年 8 月に報道発表された、当署員の非違事案の概要及び再発防止策を説明 【委員】 私の職場は、懲戒審査委員会を開き、何故起きたかを究明し、処分など判断している。前例踏襲は駄目だが判断材料にしている。お聞きした事案は、やむを得ない状況もあったようにも思う。再発防止策も聞き、よく理解出来た。 【委員】 警察と私の会社では全くケースは違うが、法律の知識がないと誤った解釈をすることなどがある。また各職場のルールは、上位の者が作るが、そのルールが末端の者にまで行き届いてないのが原因ではないかと感じている。 再発防止策として、取扱いに関して新入社員まで徹底するマニュアル化が必要ではと思う。さらにはロールプレイングやミーティングなどの伝達が必要で大事なことだと思う。		

【委員】私は市民対応している部署で仕事をしている。窓口にはいろいろな方が来られるが、常に親切な対応を心掛けている。先ほどの説明で現場の状況が分かりにくいところもあるが、周囲に人もおられた様であり、やむを得ない状況だったのではないかと新聞を読んで感じた。

5 協議

司会 会長

(1) 諮問事項説明

適切な留置管理業務に向けて～警務課長

ア 署の留置施設及び勤務状況

イ 被留置者の対応状況

について説明した。

【委員】被留置者の処遇やルールについてはどうなっているのか。

【警察】適切な留置管理業務のため、関係規定に基づいて処遇している。

(2) 諮問事項説明

新任警察官の育成方策について～地域課長

【委員】新任警察官に求められる力とは何か。また、最近の新任警察官の力不足はなところは何か教えてほしい。

【警察】実務能力の向上で、悪を少しでも無くすといった気構え等が大事だと思っている。苦手な点はコミュニケーション不足が見られる。

【委員】自治会の立場としてお願いがある。警察官にもっと自治会会館等に気軽に立ち寄っていただきたいと思っている。交番の方もいろいろな取扱いが多忙で立ち寄りが難しいと思うが、是非立ち寄ってほしい。

もう一点は、現職の警察官やOBが、町内の区長に立候補する際、規定などがあると思うが、率先して町内区長等の役職をしてもらいたいと思っている。実際に、現職の警察官に区長になって地域防犯パトロールにも積極的に参加してもらっている。

【警察】現状のコロナ情勢により立ち寄りが出来なかったことも事実である。先ほど話したコミュニケーション不足に関しても、今後、犯罪防止にかかる広報啓発等の立ち寄りも指導していく。

地域の役に関しては規制するものはない。町内のため自己判断でやってもらったらよいと思う。

【委員】私の学校では警察官を志す者が多く、毎年受験して警察学校に入っているが、途中で辞める者もかなりいると聞く。それは訓練等が厳しいためなのか、警察学校の生活が合わないのか。理由を教えてください。

【警察】警察学校は団体生活の上、基礎体力の向上を図る必要がある。武道訓練等も厳しく、体力に自信のない学生は脱落することもある。さらに集団生活に馴染めない場合や警察学校卒業後、第一線における実務

会 議
内 容

能力やコミュニケーション不足などから、辞職する者もいる。

【委員】 辞職するのは、入校中なのか卒業してからなのか。

【警察】 どちらかと言うと入校中が多い。

【委員】 私も含め、会社等に採用されてすぐに環境に慣れるのは大変であり、警察官も同じだと思う。人に声を掛けるときは、ドキドキするが、少しずつ慣れてくると思う。以前に私は警察官に声を掛けられたことがあり、その際、警察官は私の話を理解してくれ、良かったが、日本語を理解できない外国人は大変だと思う。しかし、相互にコミュニケーションがとれば大丈夫だと思う。

【委員】 亀岡市とカナダの治安情勢について違いはどうか。

【委員】 日本はどこの街に行っても安全だが、カナダは危険な場所や町があり、1人では歩けない場所が多いため注意してほしい。

【委員】 警察学校を卒業したら地域課以外の部署への配属はあるのか。

【警察】 基本的に卒業後は交番勤務の実務を経験して、以後各自の希望部署などに配属となる。

【委員】 新人警察官の男女の比率はどうか。

【警察】 令和8年4月までに女性警察官の割合が12パーセント以上を目標としている。生活安全課の事件被害者などは女性が多く、レディース交番の設置も行っていることから、女性警察官は現状多く採用している。

【委員】 我々からは、警察官がベテランなのか新人なのか全く分からないが、その新人を教える立場の警察官の苦勞が感じられ大変な職業だと再認識した。

(3) その他

【委員】 犯罪情勢や、特異な事件などあれば聞きたい。

【警察】 犯罪情勢については、警察本部のホームページに逐一件数や傾向を掲載しているため、確認していただければ最新の詳しい犯罪情勢を確認出来る。

当署の犯罪情勢における特徴は、侵入盗被害の増加が挙げられる。現在、捜査中であることから、詳細説明は控えさせていただくが、無施錠の家が多く、それらが狙われた結果、侵入盗が多発している状況と言える。委員各位においては、地域住民に対し、家の施錠の徹底を呼び掛けていただきたい。

【委員】 職場で自動車盗が発生していると聞いている。詳細は知らないが、盗難時はレッカー車、クレーン車を使用しての被害で場所は篠付近と聞いている。これまで車の施錠をしておけば安全だと思っていたが、大掛かりな盗難があったと聞いて驚いている。

【警察】 昨今の車市場の高騰により、車に特化した組織的な窃盗グループが

あり、全国的に捜査しているのは事実である。警戒は民間ボランティアとも連携し、継続してガレージなどの警戒を実施している。

【委員】音や振動による警戒ブザーは役に立つのか。

【警察】施錠するとともに音センサーは防犯としては有効である。

今後も侵入盗の犯人を逮捕していくので、各町内の不審者情報等の提供をお願いしたい。

【委員】侵入盗について、空き巣や忍び込みの犯人の目的は現金なのか。他に何かあるのか。

【警察】主に現金だが、クレジットカードも盗まれている。財布、免許等の大事なものは翌日に使いやすいように手元やリビングに置かれていることがあり、それが狙われている。通帳は印鑑と別々の場所に保管している場合が多く、件数的には少ないが、鞆内のクレジットカードは一緒に免許証を保管しており、暗証番号を生年月日にしている方もまだいることから、自身の近場に置いている鞆ごと窃取される場合が多い。

先ほども説明したが、戸締まりをしっかりといただくことと、不審者を見たり聞いた際は通報をお願いしたい。

6 事務連絡

令和4年度第3回亀岡警察署協議会は、令和4年12月中旬に実施予定である。

以上

会 議
内 容

第2回京都府亀岡警察署協議会の開催状況

